

海老名市立中新田小学校学校運営委員会協議会 議事録
(令和5年度 第2回)

- 1 日時 令和5年9月29日(金) 10:00～11:30
- 2 場所 海老名市立中新田小学校 生活科室
- 3 出席委員 笠原祐治委員長、檀浦かおり副委員長、鍵渡香代子委員、市川潔委員、猪飼誉之委員、林麻佐美委員、山本源委員、蕪木扶由美委員、藤井寿生委員、久保田祐子委員、石田雅樹委員、宮台理恵委員

4 会議の内容

(1) 委員長挨拶

笠原委員長： 前は、学校教育計画の承認を行って頂いた。今回は学校の教育活動でなにかお手伝いする機会があった時の話し合いをしていきたい。また協議2では、学校予算について、市教委からひびき実践費というものを割り当てられている、来年度どんなふうに使っていくかのご意見を頂きたい。

(2) 学校長挨拶

檀浦校長： 二学期が始まり行事が始まる。9月は修学旅行、野外教育活動、かしまつり、10月は運動会、11月は音楽会、12月はもちっ子ひろ場。今は運動会の練習と音楽会の練習を平行して行っている。児童が前向きに取り組んでいるが、そこに乗り切れない子供たちの対応が必要。子供の心を育てる行事を大切にしたい。

運動会の招待状を送付したので、無理のない範囲でぜひお越しいただけたら。今日は1年6年の練習をベランダからご覧頂きたい。

また二学期の行事をどこまでコロナ前に戻すのか。計画を見ながらご意見いただきたい。

学校予算については、申請が通らない事もある。力を入れたい活動について、学校だけでなく地域の皆さんからのお声も頂けますと大きな力になるので是非ご意見ください。

地域の交流としては、先日海老名高校初任研の他校種訪問で3名の先生がお昼過ぎまで56年生の教室で研修をした。また、ダンス部バトン部が17時から体育館で練習している。連合運動会に向け陸上部にリレーを指導してほしいと考えている。

また、えびな支援学校とは居住地交流。コーディネーターの先生に朝会にきて講話をしてもらった。音楽会には、交流のある学年中

心にバスで来てもらう予定。幼稚園と1年生の交流もできたらと考えている。交流できる場所でお互い高めあっていきたい。また、もちっ子ひろ場では自治会の全面的な協力を頂いてやっていきたい。

(3) 2学期の学校行事について

檀浦校長： 運動会 参観人数制限なしで行う。プログラムも学年混合になっており、全校で全部の競技を見られるようになっている。椅子出しも復活。高学年が低学年の椅子出しを手伝う。練習時間の確保を考えると、熱中症対策のため、半日開催。熱中症指数が高く、体育ができないことがとても多い。今年度は練習もまだ3回くらいしか外に出られていない学年もある。テント席はないけれど地域の方にも運動会を開放する。子供たちもワクワクしている。

音楽会について11月14日の校内参観の日に 都合のつく時間だけでも見ていただけたら。本日招待状を配付。こちらも全校児童が参加。前は防災頭巾を座布団にしていた。今は防災頭巾がないので椅子を出して座って参観。1、2年の椅子出しを5、6年が手伝う予定。

笠原委員長： 100mコースを校庭でまっすぐとれるのは良い。ほかの学校では取れない。

檀浦校長： よいのだが整備が大変。芝が侵食してきて100mコースに入ってきてしまっている。そこに雑草も生えてしまうので、教頭が芝刈りをだいぶしているが、侵食しやすいところにどんどん芝が来てしまっている。

山本委員： 確かにだいぶ緑の部分が増えてきている。前はこれほどではなかったように記憶している。

久保田委員： 午前開催というだけで、運動会はコロナ前と同じ形になっている。

笠原委員長： 音楽会は保護者は2名まで？

檀浦校長： その予定。去年は1名。まだこの保護者通知は出していない。

笠原委員長： もちっ子ひろ場について

檀浦校長： ここにあるものは去年の資料。先日自治会との打ち合わせで、地域保護者の参観を増やしたいという話が上がった。今年は去年のような保護者の制限は行わない。

餅は持ち帰りだけではなく食べられるコーナーを作る。とん汁、青健連青指連ブースはなし。PTAブースをつくりたい。神成クラブの綿

菓子コーナーを作る予定。スタンプ台紙を作って児童が回る予定。

3～6年児童が各教室で遊びコーナーを作る。

餅に使うのは5年生が育てた餅米。稲刈り予定は10月13日。今の田んぼの使用は今年で最後。5年生は「私たちの米をみんなが食べるんだよね。」と嬉しそう。今までそうやってきているので、子どもの中で受け継がれている。

市川委員： 保護者参観があるので去年より400食多くなるので、1000食用意する予定でいる。今まできなこあんこだけだったので醤油などもつけられるようにしたいなど。

久保田委員： 確かに昔はきなこ大根おろしだった。地域の方もたくさん来て、豚汁もあり、販売ブースもあった。体育館に飲食ブースもあった。いまはコロナもあり難しいのかと。

豚汁はサトイモニンジンごぼうを婦人会 PTA 総出で前日までに寒い中外水道を使って洗って切って準備し、かなりの作業量だった。当日は近所の方がお昼を食べにくる感じだった

市川委員： 昔は入る団体が多く、しめ縄や野菜を売っていた。豚汁は無理なら味噌汁作ろうかという話も出ている。

久保田委員： 自治体からこうやりたいというお話をいただいてやっていた。以前は伝統的にできる感じだったのかなと。

檀浦校長： 10月20日に各団体の打合せが有りそこで細かいことが決定になると思われる。

笠原委員長： マスクはまだしている？

檀浦校長： 習慣でつけている。高学年は恥ずかしくてつけている子もいる。登下校や体育の時は外すように声かけている

(4) 学校予算について

石田教頭： 1の各校割り当ての部分はほぼ決まっている。加算申請は2番以降
②地域との関連 もちっこ ふれパト ゲストティーチャー講師
今年度は5年体育 6年心の授業などを申請する。

③学力向上 ロイロノート 今年は試行で無料 来年から一人1100円かかる。3年以上でどうか

④稲作の予算 5年社会 総合にかかわる費用。謝金 燃料 用具代 日常管理は山田さんにすべてお願いしている。

⑦校内研究 大学の先生への講師料

今日ご意見いただいて承認いただけたらこちらで申請したい。

久保田委員： 先ほど申請が通らないという話があったがそれはどんなものか。

石田教頭： かなりたくさんある。たとえば各教科の授業でこれが必要だと細か

く出したが、日常的に使用するものは特色とは考えにくいと認められなかった。各校の消耗品費の中から出してほしいといわれた。また、今年は 教育委員会による査定後にも予算事情により 20 数万円調整する必要があった。よって購入予定でいたものを必要なタイミングで買えない状況があった。

山本委員： 申請しても希望通りには、購入できないということがよくわかった。今回絶対欲しいものは何か？

石田教頭： 絶対欲しいものは、お米作り関係。農家さんに肥料燃料など持ち出ししてもらっており、それはあり得ないと感じている。燃料高騰、肥料も高騰している。

山本委員： お米のためにほかの予算が余った時にそこからの使うことはできるのか。

石田教頭： そのためにはまた申請しないといけない。

笠原委員長： そのあたりは厳しく監査される。

久保田委員： 学習面ではタブレット アプリ アプリは買い取り？一年契約？

檀浦校長： 1 年契約。アプリだけで授業するわけではない。使い方によって頻度は変わる。なので保護者から集金というわけにはいかない。ドリル学習ではなくコミュニケーション学習支援アプリ

久保田委員： 学習アプリは漢字練習とか計算練習のイメージだった。無料で使えるものはないか。

檀浦校長： 無料のものもある事は承知している。しかし無料のものに比べると直感的で児童が使いやすいアプリになっている。他にもあるかもしれないが、一年間使ってきた実績と使いやすさでこちらを使いたい。

猪飼委員： もちっこの予算について申請するなら、増額する理由があったほうがいい。参加人数が増えたり、コーナーをふやしたり、今まで自腹を切った部分。

石田教頭： 日頃の田んぼの管理に関して、本来この額ではお願いできない。農家さんが負担している燃料・肥料などの実費分と管理料を負担したい。

檀浦校長： 例えば肥料を撒いたり水の管理をしたりという仕事を学校用の田んぼと自分の田んぼと分けて行っているわけではない、農家さんなので肥料・燃料など一括して購入しているから、領収書をいうわけにいかないし、学校の分は別に購入してくださいとなると農家さんの負担が増えるだけとなる。

久保田委員 本来先生方には子供とのかかわりに時間を使ってほしい。教頭が教育に必要な予算を通すために、書類上の申請の文言をどうすればよいか考えると、予算管理にそこまで時間を使うのは本末転倒ではないか、学校に必要なものを精査して申請しているのに通らないというのもおかしいのではないかと。

檀浦校長： 貴重なご意見をありがとうございます。教育に必要な予算を確保するためにまた相談に乗っていただけたらありがたい。教頭は芝刈りからお金の計算まで多岐にわたる仕事をしている。

久保田委員 子ども達との関わりにもっと時間を使ってほしい。

(5) 連絡事項・運動会練習(1年6年)見学

檀浦校長： 海西中学校校区で10/23にコミュニティスクール連絡会情報交換の会あり3~5名参加いただきたい。どなたか参加いただけたらありがたい。

笠原委員長 久保田委員 山本委員が参加

久保田委員： 海老名高校ひるえびで発表していただけないか。吹奏楽の演奏など。

猪飼委員： 吹奏楽は学期の積み込みで1時間近くかかるので無理。ダンスなどはどうか

久保田委員： 水曜日の実施で10/11 10/25 11/22 11/29 四日間のどこかでお願いしたい昼休みに踊って帰るのはどうか。

鍵渡委員： コロナ後の運動会のやり方について。幼稚園の運動会は予行練習を全学年見る。やはり他学年を見るのは大切。本番は学年別に開催。保護者のお弁当の負担もあった。午前ですっきりした。コロナで見直せた。長い練習時間が必要なものをするのが必要なわけではない。親は子供が見えて良いという点もわかった。自分の学年だけの実施でよい。

市川委員： 地域から見て、僕らが子供のときと現代は違う。自由にやっている。机の向きとか。昔は教室がぎゅうぎゅうで50人いた。自由なグループを作って向きを変えるなんてなかった。

猪飼委員： 高校生にとって、小学生をどういう意識で見ているかわからないが、海老名高校の野球部が開催した、小学校低学年生以下対象の野球体験会では野球部が未就学児と小学生に野球を教えた。手取り足取り教えて普段体験できないことを体験できてよかった。リレー練習のお手伝いのお話を頂き、陸上部に是非やさせてあげたい。文化祭

ではお化け屋敷やジェットコースター、コーヒーカップなどで嬉しそうに世話をしていた

檀浦校長： 子供は中学生とは、野球やサッカーの習い事つながり。だれかのお兄さんお姉さんなどのつながりがある。

久保田委員： えびなっ子スクールに中学生が来る学校もある。教えている中学校の生徒さんも楽しいのではないか

檀浦校長： 職場体験で来てくれることがある。先生っていろんなことを考えてやっているんだな。と感想を持って帰る子もいる。

林委員： 中新田小の音楽会に支援学校の小学部の子たちが参観に行く。ひまわり級の発表中心に参観。バスで来る予定。

町たんけんで中新田小の子どもたちが支援学校に来た。初めて校舎内に入る子がほとんど。高等部生徒と一緒に校舎を周った。支援学校の先生になりたいという感想をいただいた。また、居住地交流の子を見つけてお互い盛り上がりつつあった。

檀浦校長： 町たんけんでは、いつもそばを通るだけだったのでぜひ中に入りたいと思っていた。実施できてよかった。

笠原委員長： 支援学校は新しい建物でユニバーサルデザイン。中に入って体験するだけで良い経験。大きくなった時に子供の時にこの環境を知っていることが役立つのでは。
では、保護者の方の感想を。

山本委員： 算数の授業を4クラスに分けていてよいと思う。

檀浦校長： 児童の実態に合わせたクラス分けになっている。

山本委員： 算数を復習から始められるのがよい。算数はつまずいてしまうと全然わからなくなってしまうので。

久保田委員： どの学年も行っているのか？

檀浦校長： 今は6年だけ。中学に向けて、わからないまま進学しないようにという考え。クラスにより問題を変えたり、プリント等の準備物も変えたりして、実態に合った授業をしている。

藤井委員： 我が子はイベントが続いて 今は運動会で筋肉痛。マスクは取りたくないと言っている。全員がしている！と言っている

蕪木委員： 我が子のことだと 出かけるときに マスクマスクと言っている。
野外教育活動、運動会でお疲れ気味。楽しく行っている。
ひるえびに参加させて頂いたが、どの学年も人なつこい。マスクを取る子もふえている。

- 檀浦校長： 中新田小は、先生との距離が近い児童が多い。
- 蕪木委員： 先生が温かく明るく距離感無く接してくれるおかげではないか。
- 久保田委員： 運動会練習も見られて良かった。練習でも児童の声が聞こえてきた。
- 石田教頭： 朝昇降口を開けると 第一声が前任校は「おはようございます。」だったが中小は「先生あのね。」「僕のこれがない。」「先生どこにいった?」「私はここにいった。」「昨日どうしたの?」など。教室に行ったときも、前任校は会釈。中小は「教頭先生きたよ！きたきた。」地域の方や周りの方の接し方なのではないか。大人を身近に感じているのではないかと感じる。
- 笠原委員長： 中小の子どもたちは人懐こく、よく話しかけてくれる。今後も様々な学校の活動に協力していきたい。

(6) その他

次回の学校運営協議会は、令和6年2月下旬開催予定。